

青空会ニュース

〔第 16号〕

平成14年3月10日発行

発行担当： 渡辺 秀夫

鍋田 雄二

1. 青空会第一回写真展無事終了

かねてから計画していました青空会第一回写真展は、2月22日（金）～27日（水）の間、麻生市民ギャラリーで開催し、好評のうち無事終了しました。作品の搬入、期間中の当番そして最後の片付けと会員の皆様のご協力を感謝いたします。

期間中494名の入場者があり、予想を上回る盛況で役員一同ほっと胸をなでおろしているところです。また「金井原苑」からお花をいただき会場にいろどりを添えることができました。

来場の方から寄せられた、ご意見、ご感想の一部を紹介いたします。

「カメラを持って、その“撮るもの”に感動していらっしゃる気持ちがどの作品からも伝わって来て、見せて頂いた私も楽しゅうございました。めずらしい小さなお花、最新の作品笠雲にまで出会えて幸運でした。ますますお励みください。」

なお、来場者の方から、撮影場所を明示して欲しいとの希望が多く寄せられていました。次回の参考にしたいと思います。

2. 3月の定例撮影会について

3月の定例撮影会はお知らせしたとおり、3月5日（火）皇居東御苑を中心に行いました。参加者は6名でしたが皆さん熱心に撮影されました。ご苦労様でした。

3. 平成14年度第2回月例会・合評会について

先にお知らせしましたように、3月の月例会を次のとおり行います。

日 時：3月26日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：川崎信用金庫百合丘支店2階会議室（百合丘駅前）

同店横「職員通用口」よりお入り下さい。

合評会の作品は3月5日撮影のものを含め、各自2Lサイズ2枚をお持ちください。

4. 「金井原苑」写真展示ボランティアの続報

2月10日(日)の写真持込からスタートした「金井原苑」写真ボランティアについて同苑々長川村隆さんから次の一文とWさんの俳句が寄せられました。

「写真の展示は、句題の展示」

2月からはじまった青空会による写真展示が、うれしい効果を引き起こしています。入居者のおひとりが、すべての写真を題材に俳句を詠まれました。外出がままならぬWさんにとって写真に切り取られた景色は、ご自分の吟行につながるようです。

これからも、皆さんの撮影旅行から生まれる作品を愉しみにしています。

(以下にWさんからのお手紙と俳句の一部をご紹介します。)

この度の、青空会の皆様の、尊い作品の写真展が一階、二階三階と展示して下さいました。私達入居者は、何かしら、障害を持っております故、外への自由な外出は出来ません。久し振りに心が癒され励ましを頂きました。心よりお礼をもうしあげます。(以下略)

ふるさとや 祭囃子が 耳底に

風景の旅を いざなふ 春日和

藁苞や 会釈を返す 寒牡丹

菜の花の 近道をゆく 宮詣

梅の花 廻り道して 王禅寺

雛祭 調度欲しがる 幼かな

くれなずむ 五重の塔や 春夕

噴水に しばし心身 癒しけり

鶯草に 書院の障子 あけはなつ

年の暮れ 母子で選ぶ 達磨市

お知らせ：青空会ニュースは毎月10日発行となりました。会員の皆様からの原稿を募集します。私の写真遍歴、撮影地情報、行ってみたい撮影地等どしどしご投稿ください。